



CHAPTER 4

サーバホスト名の変更

- 「パブリッシャサーバホスト名の変更」(P.4-1)
- 「サブスクリバサーバホスト名の変更」(P.4-3)

パブリッシャサーバホスト名の変更

クラスタにあるパブリッシャサーバのホスト名を変更するには、次の手順を実行します。DNSサーバは、ネットワークインフラストラクチャを構成する要素の1つです。IM and Presenceサーバは、DNSサービスを実行せず、また実行することもできません。

はじめる前に

「作業前のチェックリスト」(P.1-1)を参照してください。

手順

- ステップ 1** 次の操作を実行します。
- パブリッシャサーバのDNSレコードを、新しいホスト名、たとえば `newhost1` を指すように変更します（説明上、この手順では、CLIコマンド例で `newhost1` を使用）。
 - 必ず順方向（A）レコードと逆方向（PTR）レコードの両方を正しく更新します。
- ステップ 2** すべてのクラスタノードで次のCLIコマンドを実行することにより、DNSの変更が他のノードに伝搬されていることを確認します。
- ```
utils network host newhost1
```
- ここで、`newhost1` は新しいホスト名を意味します。
- このコマンドの出力は次のようになります。
- ```
admin:utils network host newhost1
Hostname newhost1 resolves to 14.86.13.11
```
- ステップ 3** Cisco Unified CM IM and Presenceの管理から、パブリッシャサーバで次の作業を実行します。
- [システム (System)] > [クラスタトポロジ (Cluster Topology)] を選択します。
 - [クラスタトポロジ (Cluster Topology)] ツリービューからパブリッシャノードを選択します。
 - [ノードの設定 (Node Configuration)] セクションで、次のように新しいホスト名を反映するように [名前 (Name)] を更新します。

- サーバをホスト名で定義している場合は、古いホスト名を新しいホスト名に置き換えます。たとえば、[名前 (Name)] を「old-host」から「new-host」に更新します。
- サーバを FQDN で定義している場合は、古いホスト名ではなく、新しいホスト名を参照するように FQDN の値を更新します。たとえば、[名前 (Name)] を「old-host.example.com」から「new-host.example.com」に更新します。

d. [保存 (Save)] を選択します。

ステップ 4 Cisco Unified Communications Manager の管理から、次の作業を実行します。

- [システム (System)] > [アプリケーションサーバ (Application Server)] を選択します。
- [サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ウィンドウで [検索 (Find)] を選択し、サーバを表示します。
- 新しいノード名の値がサーバのリストに表示されていることを確認します。



(注) 新しいノード名の値がサーバのリストにない場合は、先の手順には進まないでください。

ステップ 5 ホスト名の変更が、クラスタ内のすべてのノードに複製されることを確認します。そのためには、クラスタ内のすべてのノードで CLI から次のコマンドを入力します。

```
run sql select name,nodeid from ProcessNode
```



(注) 更新したノード名の値が、クラスタにあるすべてのノードに複製されていない場合は、先の手順に進まないでください。

ステップ 6 各サブスクリバサーバに対して CLI で次のコマンドを入力することにより、クラスタ内の各サブスクリバサーバ上のパブリッシャサーバのホスト名を変更します。

```
set network cluster publisher hostname <new_hostname>
```

次に、例を示します。

```
set network cluster publisher hostname newhost1
```

ステップ 7 パブリッシャサーバ上で、サーバのホスト名を次のように変更します。

- CLI コマンド `set network hostname newhost1` を入力します。
ここで、`newhost1` は新しいホスト名を意味します。
- Yes** と入力して Enter キーを押します。新しいホスト名を反映してサーバが自動的に再起動します。



(注) ホスト名を変更すると、自己署名証明書が自動的に再生成されます。サーバが自動的に再起動しても、CTL クライアントを再実行して CTL ファイルを更新しないと、このサーバへのセキュア接続はできません。

ステップ 8 パブリッシャノードが再起動した後、次の CLI コマンドですべてのサブスクリバノードを再起動します。

```
utils system restart
```

ステップ 9 すべてのノードが正常に再起動した後、パブリッシャノードで次の CLI コマンドを実行して、レプリケーションをリセットします。

```
utils dbreplication reset all
```



(注) このコマンドの実行には最大 15 分かかります。

ステップ 10 `utils dbreplication reset all` コマンドが完了した後、次の CLI コマンドでパブリッシャ ノードを再起動します。

```
utils system restart
```

ステップ 11 パブリッシャ ノードが再起動した後、次の CLI コマンドでクラスタ内のすべてのサブスクリイバ ノードを再起動します。

```
utils system restart
```

関連トピック

- 『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』
- 『Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide』
- 『Deployment Guide for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager』

次の作業

[「変更後の作業リスト」\(P.6-1\)](#)

サブスクリイバサーバホスト名の変更

クラスタにあるサブスクリイバサーバのホスト名を変更するには、次の手順を実行します。DNS サーバは、ネットワーク インフラストラクチャを構成する要素の 1 つです。IM and Presence サーバは、DNS サービスを実行せず、また実行することもできません。

はじめる前に

[「作業前のチェックリスト」\(P.1-1\)](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 次の操作を実行します。

- サブスクリイバサーバの DNS レコードを、新しいホスト名、たとえば `newhost1` を指すように変更します（説明上、この手順では、CLI コマンド例で `newhost1` を使用）。
- 必ず順方向（A）レコードと逆方向（PTR）レコードの両方を正しく更新します。

ステップ 2 すべてのクラスタ ノードで次の CLI コマンドを実行することにより、DNS の変更が他のノードに伝搬されていることを確認します。

```
utils network host newhost1
```

ここで、`newhost1` は新しいホスト名を意味します。

このコマンドの出力は次のようになります。

```
admin:utils network host newhost1
Hostname newhost1 resolves to 14.86.13.11
```

- ステップ 3** Cisco Unified CM IM and Presence の管理から、パブリッシャ サーバで次の作業を実行します。
- [システム (System)] > [クラスタ トポロジ (Cluster Topology)] を選択します。
 - [クラスタ トポロジ (Cluster Topology)] ツリービューからサブスクリバ ノードを選択します。
 - [ノードの設定 (Node Configuration)] セクションで、次のように新しいホスト名を反映するように [名前 (Name)] を更新します。
 - サーバをホスト名で定義している場合は、古いホスト名を新しいホスト名に置き換えます。たとえば、[名前 (Name)] を「old-host」から「new-host」に更新します。
 - サーバを FQDN で定義している場合は、古いホスト名ではなく、新しいホスト名を参照するように FQDN の値を更新します。たとえば、[名前 (Name)] を「old-host.example.com」から「new-host.example.com」に更新します。
 - [保存 (Save)] を選択します。

- ステップ 4** Cisco Unified Communications Manager の管理から、次の作業を実行します。
- [システム (System)] > [アプリケーション サーバ (Application Server)] を選択します。
 - [サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ウィンドウで [検索 (Find)] を選択し、サーバを表示します。
 - 新しいノード名の値がサーバのリストに表示されていることを確認します。



(注) 新しいノード名の値がサーバのリストにない場合は、先の手順には進まないでください。

- ステップ 5** ホスト名の変更が、クラスタ内のすべてのノードに複製されることを確認します。そのためには、クラスタ内のすべてのノードで CLI から次のコマンドを入力します。

```
run sql select name,nodeid from ProcessNode
```



(注) 更新したノード名の値が、クラスタにあるすべてのノードに複製されていない場合は、先の手順に進まないでください。

- ステップ 6** サブスクリバサーバ上で、サーバのホスト名を次のように変更します。

- CLI コマンド `set network hostname newhost1` を入力します。
ここで、`newhost1` は新しいホスト名を意味します。
- Yes** と入力して Enter キーを押します。新しいホスト名を反映してサーバが自動的に再起動します。



(注) ホスト名を変更すると、自己署名証明書が自動的に再生成されます。サーバが自動的に再起動しても、CTL クライアントを再実行して CTL ファイルを更新しないと、このサーバへのセキュア接続はできません。

- ステップ 7** 次のコマンドで、クラスタ内のパブリッシャ ノードを再起動します。

```
utils system restart
```

- ステップ 8** 次のコマンドで、クラスタ内の他のすべてのサブスクリバ ノードを再起動します。

```
utils system restart
```

- ステップ 9** すべてのノードが正常に再起動した後、パブリッシャ ノードで次の CLI コマンドを実行して、レプリケーションをリセットします。

```
utils dbreplication reset all
```



(注) このコマンドの実行には最大 15 分かかります。

ステップ 10 `utils dbreplication reset all` コマンドが完了した後、次の CLI コマンドでパブリッシャ ノードを再起動します。

```
utils system restart
```

ステップ 11 パブリッシャ ノードが再起動した後、次の CLI コマンドでクラスタ内のすべてのサブスクリバ ノードを再起動します。

```
utils system restart
```

関連トピック

- 『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』
- 『Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide』
- 『Deployment Guide for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager』

次の作業

[「変更後の作業リスト」 \(P.6-1\)](#)

